



少しずつ 2年 深澤 恵芽さん

(『ラスト・チェリー・ブLOSSム わたしのヒロシマ』
キャサリン・バーキンショー著 吉井知代子訳 ほるぷ出版)

主人公、ユリコは、原爆で父と親友を亡くし、原爆の後遺症で継母を亡くし、十二歳で大切な人を一気に失った。そんなユリコが心に様々な思いを抱え川に飛び込もうとするが、なんとか思い留まるシーンが特に胸に残った。まだまっすぐ前を向けなくても、少しずつでも辛い気持ちを乗り越えようとするユリコを描いた。そんなユリコを見守る3人の暖かさが伝われば良いなと思う。